

事務事業名		人権学習講演会開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	人権教育係		担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	14352	一般	10	4	1	人権学習講演会開催事業						
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成17年度～	年度	根拠法令 条例等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 佐野市同和対策集会所条例 人権教育・啓発推進佐野市行動計画			事業区分	市単独事業・国県補助事業
						実施方法		任意の事業			任意の事業	
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			直営	
						リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし	
						市長マニフェスト		該当なし			該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・8集会所で、それぞれ1回、集会所「人権学習会」を実施。			集会所「人権学習会」、8集会所で、高齢者、女性、障がい者、同和問題など、様々な人権をテーマに人権学習会を開催した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			学習回数(人権学習会)	回	8	8	8			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
周辺市民、市職員、学校の教員、集会所運営委員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			周辺市民、市職員、教員、運営委員	人	274	275	290			
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
人権感覚の涵養を図り、人権意識の高い市民を養成する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			講座実施回数/講座開催予定回数	%	97.4	100.0	100.0			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
日常生活において、人権を意識している。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			人権講演会参加者で「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した人の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	221							
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	181	181	181	181	181			
	事業費計(A)	千円	402	181	181	181	181			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	380	報償費	180	報償費	180	報償費	180
			需用費	22	需用費	1	需用費	1	需用費	1
人件費	人	10	10	10	10	10				
のべ業務時間	時間	200	210	210	210	210				
人件費計(B)	千円	778	828	828	828	828				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,180	1,009	1,009	1,009	1,009				

事務事業名	人権学習講演会開催事業	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	人権教育係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成12年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が施行され、さらに同法に基づく「人権教育・啓発推進佐野市行動計画」が作成され、こうした人権尊重の認識が高まる中、集会所事業においても人権学習の充実を図る必要があった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成14年3月末で特別措置法が失効し、国は対策事業を終了した。県においても平成13年10月に提出された栃木県同和対策審議会の意見具申を踏まえ、平成14年3月末で特別対策を終了しているが、依然、同和問題をはじめ様々な人権問題が解決されずに存在する以上、人権教育は引き続き推進していく必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	関係機関や社会活動団体に広く呼びかけ、受講対象者の拡大を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	人権教育・啓発を推進する人権学習講演会、学習会は、人権の尊重される社会の実現に欠かせない事業であり、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律で、地方公共団体は、「人権教育及び人権啓発に関する施策を策定し、実施する責務を有する。」と規定されており、実施に当たっては、主体性と中立性が求められており、市が行うのが妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	集会所事業ということで、対象を設定している。人権が尊重される社会の実現には、人権意識の高い市民が増えることが、望ましい。対象と意図の範囲の変更は考えていない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	対象地区内住民の参加人数を増やす必要がある。対象地区内住民に対しての広報の工夫が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 指導者養成専門講座開催事業 類似事務事業として、指導者養成専門講座開催事業があり、教職員、市職員を対象として実施している。人権学習講演会開催事業は、主に集会所周辺市民や受講者を対象にしており、分離して開催することが適切であると考えます。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は、講師謝金と周知費用の最低限必要な経費であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	講演会の目的は、様々な人権問題の解消、人権の守られる社会をつくることであり、受益者は参加者だけではなく、多くの人々、社会全体に及ぶと考えられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	一人ひとりの人権が尊重された社会の実現が前提である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			